

# 令和6年度入学試験問題

## 情報学部

### 学校推薦型選抜

# 小論文

#### (注意事項)

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはならない。
2. 問題は全部で2ページある。落丁・乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ること。
3. 別に解答用紙が2枚および下書き用紙が2枚ある。
4. 文章はすべて解答用紙の指定された箇所に横書きで記入すること。
5. 受験番号は解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答時間は90分である。
7. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。

**問題1** 次の文章は、『両丹日日新聞 公式サイト』（2022年3月4日）からの引用である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

「GIGA スクール元年」とも言われる今年度、京都府福知山市の ICT 教育の推進に貢献したとして、市教育委員会は1日、市立小中学校9校の教諭10人を「ICT（情報通信技術）達人教師」に認定した。

国の「GIGA スクール構想」に基づき、昨年4月から市立小中学校の児童・生徒1人に1台のタブレット端末が割り当てられるなど、今年度は教育環境が激変。各学校では情報教育を担当する教諭が中心となって、端末の研修を重ねるなどしてきた。

その成果もあって、端末は普段の授業で使われるだけでなく、自宅に持ち帰り、宿題や歌の小テストの提出などにも利用され、活用の幅が広がっているという。

そういった取り組みを進める教諭たちの励みになればと、市教委は独自に、「ICT 達人教師」を認定し表彰する制度を創設。新年度以降も、ICT 教育の推進の核となる人材として活躍できることを期待し、20代から40代の教諭10人を選んだ。

認定式は、オンラインで開催。各学校から参加した教諭に対して、端野学教育長は「研修への姿勢、指導力、発信力の観点から認定しました。今後も ICT の利活用に活躍いただきたい」と祝福した。

## 設 問

**問1** この文書で述べられている「ICT 達人教師」は、どのような人を指すか。140字以内で述べなさい。

**問2** この文章では、国の「GIGA スクール構想」に基づいた福知山市の取り組みが紹介されている。文章内にある「ICT 教育」と「GIGA スクール」は、どのような関係にあるか、両者の概要を述べつつ、あなたの考えを180字以内で述べなさい。

**問題2** 次の文章は、『日本経済新聞』（2023年5月10日付、電子版）からの引用（一部抜粋）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

福島県昭和村がデジタルトランスフォーメーション（DX）の本格的な導入に乗り出している。除雪車の運転や独居高齢者の見守りなどの住民サービスを効率化し、電子図書館などマイナンバーカードにひも付くデジタルIDを活用した事業にも取り組む。過疎化や高齢化が進み、豪雪に見舞われる同村はDXで生き残りへの活路を切り開こうとしている。

きちんと眠れているのか、トイレの回数が多すぎないか、ヒートショックの懸念はないのか——。独り暮らしの高齢者についてのこんな心配事を解決するため、昭和村は2022年12月、凸版印刷と共同で、センサーと人工知能（AI）を活用した見守りの実証実験を始めた。

高齢者の自宅の居住スペースやトイレなどに人感センサーやドアの開閉を感知するセンサーなどを設置し、住人の行動データを取得。AIで行動内容を分析し、異常が起きたときには警報を発する仕組みだ。初年度は10軒の住宅を対象に実験を進めており、24年度にサービスの本格運用を始める考えだ。（中略）

まずは役場内の業務の改革に着手。従来、エクセルを使っていた住民からの申請受付・進捗状況の管理をアプリ化するなどの作業を進めた。電子決裁の整備も進め、今では舟木幸一村長も自分のスマホで決裁をしているという。「決裁のスピードが上がり、業務時間の短縮にもつながっている」（小林氏）などの効果が出ている。（中略）

23年度からは国のデジタル田園都市国家構想交付金も活用しながら、マイナンバーカードにひも付いたデジタルIDを活用した住民サービスにも取り組む。村には書店がなく、公民館内に設置した図書室しかないことに対応し、デジタルIDで電子書籍を借りて読めるシステムを導入する。秋にはマイナンバーカードをかざせば利用できるオンデマンドバスの運用も始める。利用データを蓄積し、村のバス路線を含め、効率的な交通システムの構築につなげる。

今後の課題として医療分野への応用も検討する。医師1人、歯科医師1人の診療所しかない村にとって、遠隔診療などが実現すれば「村に人を呼び戻すきっかけになる」

（小林氏）と期待する。過疎の村は、少子高齢化の進む日本の将来を写す鏡。今回の挑戦がどんな成果を生むのか、全国の注目を集めそうだ。

## 設 問

この文章では、遠隔診療などが実現すれば「村に人を呼び戻すきっかけになる」と述べられている。この文章で高齢化対策としてどのようにICT技術を利用しているかをまとめた上で、過疎化の防止に効果的であるとあなたが考えるDXの導入例について、その内容（事例）とどのような効果が期待できるかを、300字以内で説明しなさい。